

## 学校教育目標

ふるさとを誇りに 夢や目標に向かって 主体的に生きる 児童の育成

### 目指す学校像

- ◎子どもの元気と笑顔、活力を地域に届ける学校  
(矢立笑活"校")
- ◎地域と学校が連携・協働で子どもを育てる学校

### 受け継がれる子ども像

矢立杉林のように 大地にしっかりと根を張り合い それぞれが大空に向かって たくましく伸びる子ども

### 目指すふるさとキャリア教育

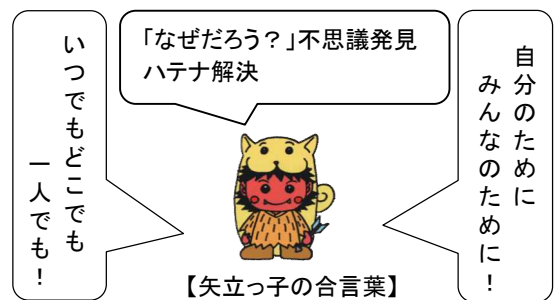
- 矢立の人・もの・こととの関わりを広げて
- ◇郷土愛 ◇主体性 ◇自立心 ◇発信力

### 目指す授業

- ◇子どもが試行錯誤し、根拠を明らかにして学ぶ授業(理解の深化)
- ◇子ども同士が助け合い、励まし合い、高め合う授業(学び合いの充実)
- ◇自らの努力や成果を自覚できる授業(自己肯定感と自信の向上)
- ◇一人一人の確かな見取りと適切な指導・支援のある授業(教師のファシリテート)

### 重点事項

- 1 基礎・基本の定着と説明する力の育成
- 2 効果的な2複式の学校運営
- 3 児童が主体となるPJ(プロジェクト)や活動
- 4 幼保・小中、地域施設等との連携



【4月 4名の新入生を迎えての入学式】



【5月 自分の力を出し切った運動会】



【6月 男子2人の修学旅行 函館】



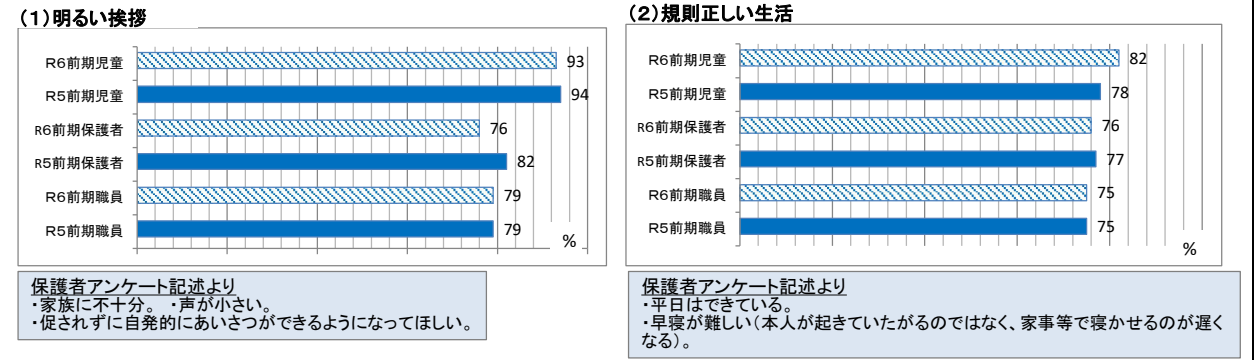
【7月 4・5年自然教室 集合写真】

ア 児童の 状況	自己評価 Aと外部 評価の評 価区分	きわめて良好	自己評価 Bの評価 基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
		良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
		おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
		やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
		努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 自主的・自律的な生活				
児童生徒の状況		自己評価A	学校運営協議会委員評価	学校運営協議会委員のコメント
よりよく生活し安全に過ごす 意欲と能力を高めている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	自分から進んで挨拶ができてい る子どもが多い中、やや個人差 もあるようである。校長先生 が子どもたちに伝えた「自分 から進んで」という言葉を浸透 させ、毎日の活動を通して一 人一人の主体性のさらなる醸 成に期待したい。また、基本 的生活習慣の確立に向けた家 庭との連携を引き続き大切に してほしい。
	年度			
学 校 自 校 の 評 改 価 善 の 策 概 要 と	【前期(一年度)】 あいさつは、自分から進んでできる子どもが多いが、個人差もある。児童主体のあいさつ運動などの取組を継続しながら、進んで元々よくあいさつすることを意識させていきたい。規則正しい生活については、メディアとの関わりによる影響が大きいと感じている。家庭との連携を図りながら、メディアに関する目標を設定し、チェックカードを活用しながら規則正しい生活ができるようにしたい。特に、休日や長期休みの過ごし方については、普段以上に声をかけをしていきたい。 安全面では、前年度までの反省や助言をもとに安全な環境づくりを行うとともに、子どもたちが正しい行動をとれるように継続して指導していく。			
	【年度(一次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1) 明るい挨拶	・挨拶について考える場の設定 挨拶運動	3	
	(2) 規則正しい生活	・家庭との連携(早寝、早起き、朝ご飯) 始まりの時間を意識した学校生活		
2 集団生活・集団活動	(3) 自分の役割に責任をもつ態度の育成	・自ら進んで取り組む活動 家族の一員としての自覚	3	
3 安全に過ごすための行動	(4) 安全教育の充実	・飛び出し防止の指導 交通安全教室 判断力を高める避難訓練	4	

【1に関するデータ】

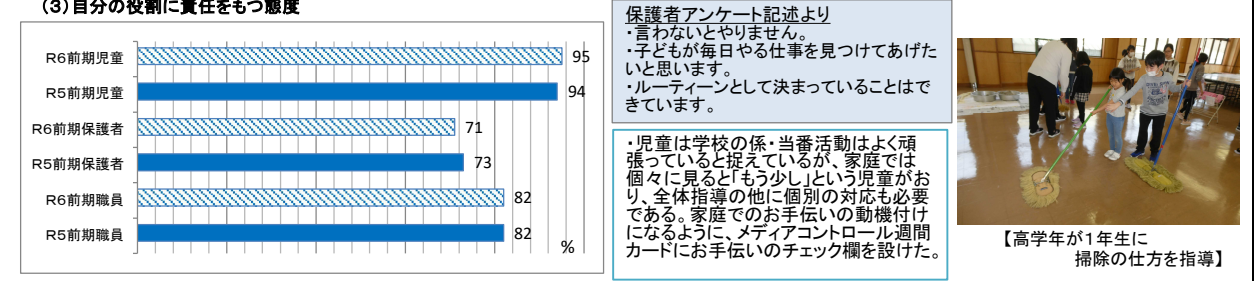


・挨拶について児童は「よく取り組んでいる」と捉えているが、保護者や職員は児童ほどよく取り組んでいるとは捉えていない。家族に不十分、声の大きさ、自発的にという部分で個人差があるように思う。学校では、プロジェクト委員会の呼びかけやあいさつ運動を行い、挨拶のレベルアップを試みている。含言葉と結びつけて、「いつでもどこでも一人でも」元気の挨拶ができるように呼びかけている。規則正しい生活については、メディアコントロールの取組を家庭と協力して継続していきたい。また、メディアに触れない時間に何をすることも合わせて考えていきたい。

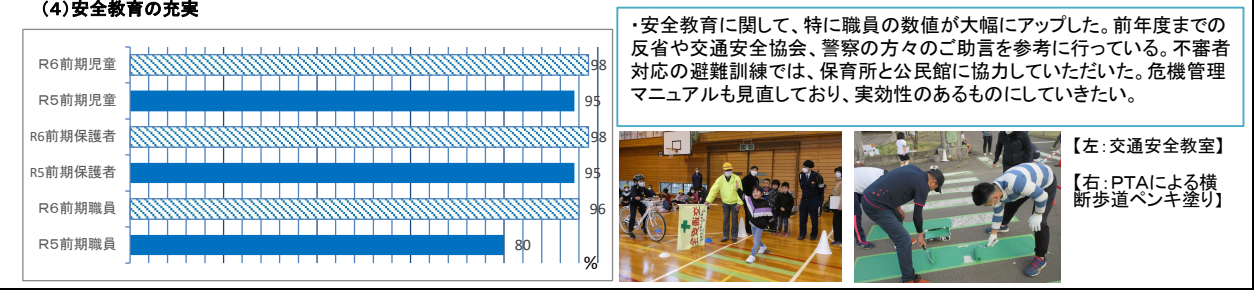
【あいさつ運動(プロジェクト委員会)】

【あいさつ運動(民生児童委員)】

【2に関するデータ】



【3に関するデータ】





## ア 児童の状況

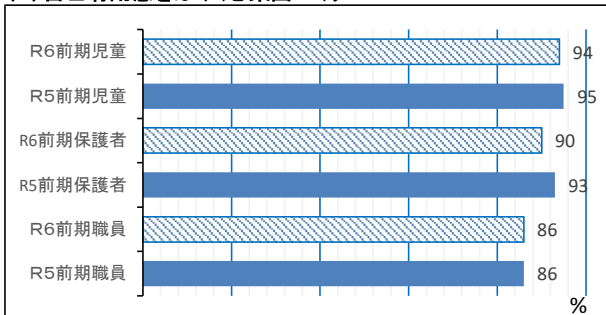
### Ⅱ 思いやりの心・たくましい心

児童生徒の状況		自己評価A	学校運営協議会委員評価	学校運営協議会委員のコメント
互いに認め合い、助け合いながら物事に取り組み、自分たちの力で解決していく活動の充実が図られている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	授業では、先生方のきめ細かな指導や支援により、子どもたちは自分の考えをしっかりとって共感的に学び合っている。行事では、自分のよさを発揮しながら意欲的に取り組んでいる子どもが多い。引き続き、一人一人が目標をもって取り組み、自分の頑張りや成長を実感できるような手立ての工夫をお願いしたい。
	年度			
校 自 己 改 善 評 価 策 の 概 要 と 学	<b>【前期(→年度)】</b> 自己有用感、自分で気付くことに加えて、他人から感謝されたり認められたいすることで高まることも多い。これからは玄関前の「サンキューがんばりの木」に記入することや帰りの会などを通して、互いのよさを認め合えるようにしていく。また、学校行事や様々な活動を通して、一人一人のよさを発揮できる場を設定していきたい。 いじめについては、日頃から子どもたちの様子を観察したり、教育相談を行ったりして未然防止と早期発見に努めていく。また、いじめが起こってしまったときの対応も大切にしていく。いじめゼロを目指すとともに、いじめ見逃しゼロを目指して対応していく。 <b>【年度(→次年度)】</b>			

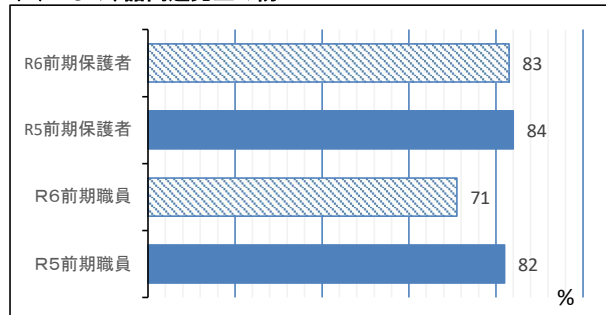
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 共感し合う心	(5) 自己有用感をはぐむ集団づくり (6) いじめ、諸問題発生防止	・互いを認め合う学級づくり ・縦割り活動の充実 ・早期発見の体制づくり ・家庭との連携	3	
5 一人一人のよさの発揮	(7) 達成感を味わえる活動	・運動会、学習発表会、ふれあい集会などの学校行事 ・自分のよさに気付く場の設定	4	

#### 〔4〕に関するデータ

##### (5) 自己有用感をはぐむ集団づくり



##### (6) いじめ、諸問題発生防止



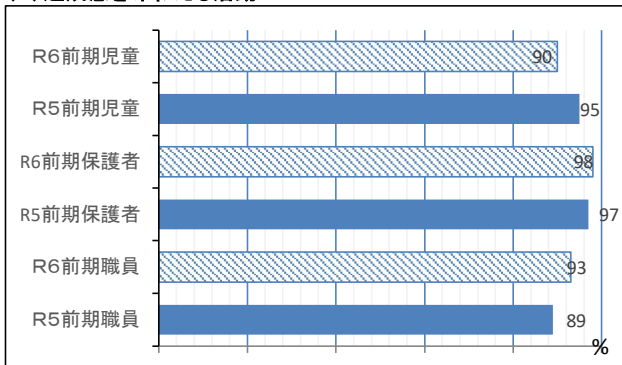
#### 保護者アンケートの記述より

・いじめまではいかなくても、嫌な思いをして帰宅することがあり、話をすると泣いてしまうこともありました。自分の気持ちを話すように伝えていますが、相手には伝わらないようです。  
 ・明らかにテレビや家庭内で使わない言葉を使っており、特定・少数の人物から嫌なことを言われたり、されたりしているのではないかと一抹の不安はあります。

・先日、「子どもが安心・安全に過ごせる学校体制づくり」を保護者に示し、児童との信頼関係を構築するための相談活動を充実させるとともに、児童の様子について家庭との情報交換を強化していくことにした。アンテナを高くし、子ども同士のトラブルだけでなく、職員の言動も含め、気になることはすぐに連絡してもらうようにした。  
 ・児童アンケート「自分にはよいところがあると思う」の数値が下がった。「あまりない」と否定的に答えた児童が数人いた。互いのよさを認め合える場を設定しているので、継続していきたい。職員もこれまで以上に一人一人のよさをほめる場面を増やしていく。

#### 〔5〕に関するデータ

##### (7) 達成感を味わえる活動



#### 保護者アンケートの記述より

・楽しい行事が多く、思い出をたくさんつくれています。



【左:全校登山(矢立風景林) 右:親子レクリエーション(植樹体験)】

・児童・保護者・職員とも高い数値になっている。ただ行事をこなすのではなく、ねらいや児童にどのような力を身に付けさせたいかを明確にして活動するようにしている。児童アンケートでは、行事をあまり頑張れなかった児童がいたので、目標をしっかりとらせてから活動するようにしていきたい。

## ア 児童の状況

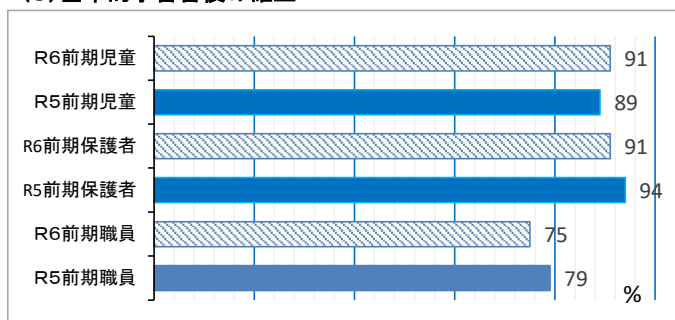
### Ⅲ 基礎学力

児童生徒の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
児童一人一人が基本的学習習慣を身に付け、主体的に学習しながら学習内容を定着させている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	学年が上がるごとに学び方が身に付いており、課題に対して真剣に取り組む姿がみられる。一人一人の学習状況をしっかりと把握し、丁寧な指導や支援が行われている。引き続き、どの子どもも活躍できる場の設定や、少人数の特性を生かした指導・支援をお願いしたい。
	年度			
と自己 学 校 の 価 値 改 善 策 要	【前期(→年度)】 今年度は、友達のを考えを解釈しながらねらいの達成に向かう学び合いを重点に掲げている。友達と助け合ったり教え合ったりしながら問題解決に向かい、学び合いが充実するようにしたい。学び合いの形態を工夫したりICTを効果的に活用したりすることで、子どもたちは友達と協働して学ぶ良さや意義を感じている。さらに学び合いを深めるためには、教師の授業構想力を高めていくことが必要である。本校の共通実践事項を確実に、日々の授業改善に努めていく。			
	【年度(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 基本的学習習慣	(8) 基本的学習習慣の確立	・矢立っ子「学習の約束」・ノート指導・家庭学習の習慣化 ・各教科における言語活動・表現する場の設定・ドリル等を活用した反復練習	3	
6 学力向上	(9) 基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成	・少人数の特性を生かした基礎・基本の定着・児童主体の授業改善 ・教師の確かな見届けと指導・支援・根拠を明らかにして説明する場の設定 ・児童主体の授業改善・学び合いのスタイルの工夫	3	

#### 【5に関するデータ】

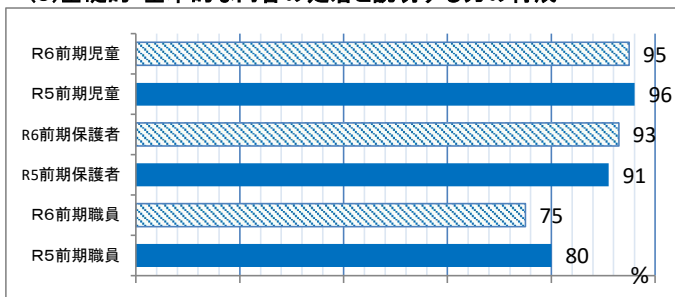
##### (8) 基本的学習習慣の確立



・児童アンケート「忘れ物をせず、準備を整えて授業で学習した」の数値が上がり、家庭でも翌日の見通しをもって毎日を過ごしている様子が見えてくる。また、「家での家庭学習を毎日頑張ることができた」の数値も高く、家庭での見届けがしっかりと行われていることに感謝している。中学生の家庭学習ノートを借りてきて展示し、さらに質の高い家庭学習ができるように働きかけている。

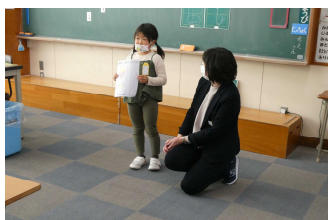
#### 【6に関するデータ】

##### (9) 基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成



・児童・保護者の数値が高いのに比べ、職員の数値がそれより低くなっている。保護者の数値が高く、学習指導面においてよい評価を受けていると捉えている。今年度は、「確かな自分の考えをもち、進んで学び合う子どもの育成」という研究主題のもと、「基礎・基本の定着」と「説明する力の育成」を目指している。職員の評価が低いのは、まだまだできるという思いの表れであると思う。人数が少ないという利点を生かし、児童が楽しく学びながら、しかも「分かった」「できた」と思える授業を創り上げていきたい。

#### < 普段の授業の様子から >



【1年 国語】



【2・3年 算数】



【4年 図工】



【5年 算数 花岡小とのオンライン授業】



## ア 児童の状況

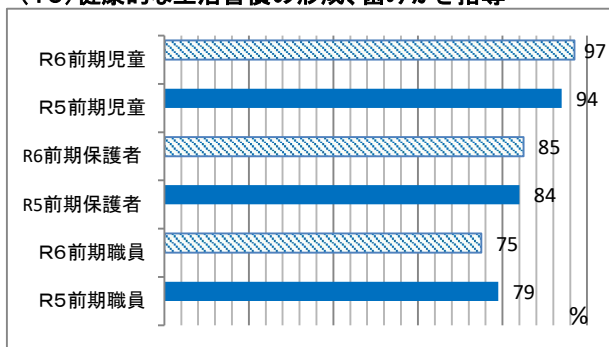
### Ⅳ 健康と体力

学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
児童一人一人に運動の機会を多く与え、家庭と連携して健康な生活習慣の形成に努めている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	メディアコントロールに関わり、独自に「お手伝い」の項目を設けるなど、健康な生活習慣の形成に向けた取組がよくなされている。また、熱中症への対応など、安全面に配慮しながら一人一人の子どもの実態に応じた体力づくり活動が行われている。秋季、冬季での活動の充実に期待したい。
	年度			
自己評価の改善の概要と	【前期(→年度)】	歯みがきカード等の結果を見ると昨年よりも達成率は上がっているが、内容を見ると休日の朝・昼の歯みがきが疎かになっていた。食べたら磨く習慣が身に付くよう、学校歯科医の協力も仰ぎながら指導を継続していく。生活習慣に関して、今年度はメディア使用についての家庭のルールを決めてもらうよう取り組んでいる。体力づくりでは、天候の悪い日も工夫して室内での運動に取り組むことができた。休み時間に体育館で体を動かして遊ぶ児童も多くみられるので、熱中症や怪我に注意し、安全に遊べるよう見守っていききたい。		
	【年度(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 保健指導	(10)健康的な生活習慣の形成	・早寝、早起き、朝ご飯、メディア等One Oneカードの取組 ・給食、歯磨き指導	3	
9 体力の向上	(11)体力づくり活動の充実	・業間運動の推進 ・外遊びの奨励 ・徒歩通学の推奨	3	

### 〔8に関するデータ〕

#### (10)健康的な生活習慣の形成、歯みがき指導



保護者アンケートの記述より  
・声かけが必要です。  
・休日の昼は忘れがちです。

・「親子歯みがきカード」や「ONEONEチャレンジカード」、夏休みの「歯みがきカレンダー」など家庭の協力を得ながら進めている。6月に実施した「親子歯みがきカード」では、達成率が94.6%と昨年度よりも7ポイントアップした。休みの日の取組が課題になっていると回答があった。歯みがきの習慣を含め、就寝時間や起床時間、メディア使用の時間などを守ることが健康的な生活習慣につながっていることを家庭と連携して働きかけていきたい。



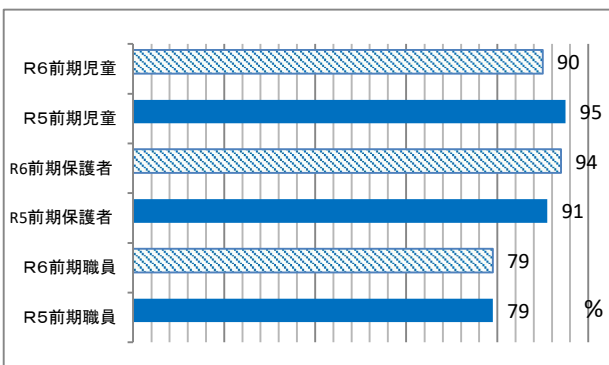
【給食後の歯磨きの様子】



【歯つっぱりこいん集計  
(ヘルシースポーツ委員会)】

### 〔9に関するデータ〕

#### (11)体力づくり活動の充実



【体力テスト ハンドボール投げ】



【中休み マラソン】

・児童の数値が下がっているのは、マラソンタイム(中休み)のある月曜日に天候の悪い日が多く、回数を重ねることができなかったためと思われる。雨天時は、体育館で縄跳びや一輪車を行い、体を動かす機会が減らないようにしている。新体力テストの結果は、ほとんどの学年で県平均を上回っている。

## イ 学校運営の状況

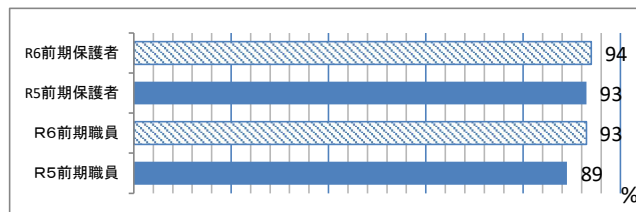
### V 組織運営及び保護者・地域との連携

学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
学校に実情に合った経営が なされ、保護者、地域との 連携が図られている。	前期	良好	良好	保護者、職員とも評価指標に関わるアンケートの肯定的な回答が多い。「学校は地域のために、地域は学校のために」という考えの下、学校、PTA、地域が一体となって子どもたちの成長を支えており、良好な状況である。
	年度			
学 自 校 己 の 評 価 改 善 の 策 の 概 要 と	【前期(→年度)】 今年度も農園活動をはじめ、交通安全教室や田植え、クラブ活動などの様々な活動に保護者や地域の方々のお力をお借りして、充実した活動が できている。また、公民館や保育所との連携をさらに深め、新たに避難訓練において避難場所としてお願いしたり、不審者対応の応援に駆け付けて もらったりすることもできた。民生児童委員と語る会で、地域の方々が子どもたちや学校に関心をもってくださっていることをとても感じたので、さらに 矢立の人・もの・こととの関わりを広げていけるよう、今後も地域と連携・協働し、保護者や地域から信頼される学校となるよう取り組んでいきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
10 学校の明確な運営	(12) 経営方針や重点施策の明示	・経営方針、重点施策の明確化	4	
11 開かれた学校	(13) 保護者・地域への情報発信	・学校だより、学級だよりの活用 ・諸活動の案内 ・HP、ブログ、緊急メールシステムの活用	4	
12 PTA、地域、他校との連携	(14) PTA、地域、関係機関との連携	・地域のよさを生かした活動(地域人材の活用) ・PTA活動の充実 ・9年間のスパンでの実践事項 ・他校との交流学習	4	

#### 【10に関するデータ】

##### (12)経営方針や重点施策の明示



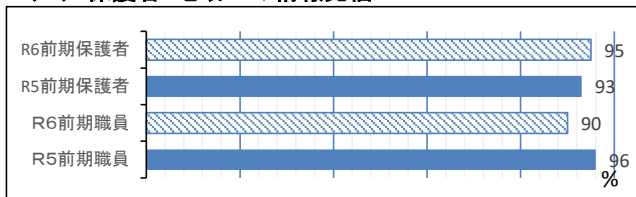
・保護者、職員とも数値が少し上がった。児童には行事等のあいさつで、保護者や地域のみなさんにはPTA、学校報等で、学校の目指す子ども像や合言葉について伝えている。学校運営協議会やPTA等での意見を参考にしながら、「開かれた学校」「信頼される学校」を目指していきたい。



【2学期始業式 校長から】

#### 【11に関するデータ】

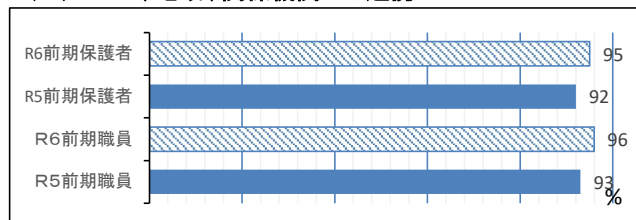
##### (13) 保護者・地域への情報発信



・保護者、職員とも高い数値である。職員の数値が下がったのは、学校の様子をもう少し分かりやすく伝えることができるのではないかという思いである。学校報や学級通信、保健だよりなどでは、子どもたちの様子だけでなく、学校経営や学級運営についてもできるだけ分かりやすく情報発信していきたい。また、引き続き報道機関も利用しながら、多方面に発信していきたい。

#### 【12に関するデータ】

##### (14) PTA、地域、関係機関との連携



<保護者アンケート記述より>  
・地域ぐるみで教育をしているという実感があります。



【地域の方々の協力を得て 左:田植え 右:花壇・農園作業(お助け隊)】

・保護者・職員とも数値が上がった。保護者アンケートの記述にあるように、「地域ぐるみで教育をしている」という言葉にある通り、保護者や地域の皆様のご支援・ご協力のおかげで、児童が楽しく活動できている。また、花岡小、釈迦内小、北陽中、矢立保育所とも継続的に交流を続けており、効果を上げている。今後は、児童によるより主体的な活動になるように、児童の意見も取り入れながら進めていきたい。



# 令和6年度 学 校 評 価 一 覧 表（前期）

学校教育目標 『ふるさとを誇りに 夢や目標に向かって 主体的に生きる 児童の育成』

大館市立矢立小学校

市教育 施 策	評 価 項 目	評 価 指 標	実 践 課 題	主 な 取 組	アンケート対象			自己評価 B
					児童	保護者	職員	
○・大館ふるさと市民のキャリア教育を基礎とした学校経営 力・大館市民実践力の育成	Ⅰ 自主的・自律的な生活 (よりよく生活し、安全に過ごそうとする意欲と能力を高めている。)	1 基本的な生活習慣	(1) 明るい挨拶 (2) 規則正しい生活	・挨拶について考える場の設定 ・挨拶運動 ・家庭との連携（早寝、早起き、朝ご飯） ・始まりの時間を意識した学校生活	○	○	○	3
		2 集団生活・集団活動	(3) 自分の役割に責任をもつ態度	・自ら進んで取り組む活動 ・家族の一員としての自覚	○	○	○	3
		3 安全に過ごすための行動	(4) 安全教育の充実	・飛び出し防止の指導 ・交通安全教室 ・判断力を高める避難訓練	○	○	○	4
	Ⅱ 思いやりの心・たくましい心 (互いに認め合い、助け合いながら物事に取り組み、自分たちの力で解決していく活動の充実が図られている。)	4 共感し合う心	(5) 自己有用感をはぐくむ集団づくり  (6) いじめ、諸問題発生の防止	・互いを認め合う学級づくり ・縦割り活動の充実 ・学び合いを大切に授業 ・早期発見の体制づくり ・いじめアンケート ・教育相談の充実 ・家庭との連携	○	○	○	3
		5 一人一人のよさの発揮	(7) 達成感を味わえる活動	・運動会、学習発表会、ふれあい集会などの学校行事 ・自分のよさに気付く場の設定	○	○	○	4
	Ⅲ 基礎学力 (児童一人一人が基本的学習習慣を身に付け、主体的に学習しながら、学習内容を定着させている。)	6 基本的学習習慣	(8) 基本的学習習慣の確立	・矢立っ子「学習の約束」 ・ノート指導 ・家庭学習の習慣化 ・表現する場の設定 ・各教科における言語活動の充実 ・ドリル等を活用した反復練習	○	○	○	3
		7 学力向上	(9) 基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成	・少人数の特性を生かした基礎・基本の定着 ・教師の確かな見届けと指導、支援（教師のファシリテート） ・根拠を明らかにして説明する場の設定 ・児童主体の授業改善 ・学び合いのスタイルの工夫	○	○	○	3
	Ⅳ 健康と体力 (児童一人一人に運動の機会を多く与え、家庭と連携して健康な生活習慣の形成に努めている。)	8 保健指導	(10) 健康的な生活習慣の形成	・早寝、早起き、朝ご飯、メディア等One 0neカードの活用 ・給食、歯磨き指導	○	○	○	3
		9 体力の向上	(11) 体力づくり活動の充実	・業間運動の推進 ・外遊びの奨励 ・徒歩通学の推奨	○	○	○	3
	Ⅴ 組織運営及び保護者・地域との連携 (学校の実状に合った経営がなされ、保護者、地域との連携が図られている。)	10 学校の明確な運営	(12) 経営方針や重点施策の明示	・経営方針、重点施策の明確化		○	○	4
		11 開かれた学校	(13) 保護者・地域への情報発信	・学校だより、学級だより等の活用 ・HP、ブログ、緊急メールシステムの活用 ・諸活動の案内		○	○	4
		12 P T A、地域、他校との連携（交流）	(14) PTA、地域、関係機関との連携	・地域のよさを生かした活動（地域人材の活用） ・P T A活動の充実 ・9年間のスパンでの実践事項 ・他校、保育所との交流学習		○	○	4